

まんのう町教育委員会だより

爽そうふう風

子どもの健やかな成長を願って

Vol. 44

令和6年【2024】

8月1日 発行



特集 ここが自慢！ わたしたちの学校

Contents

P.6～7 園・学校ウォッチング
長炭小学校・琴南こども園

P.8 アフターコロナの運動会
P.9 シリーズ「声」

P.10 ホットニュース
P.11 関係機関から



満濃中学校



学級で
意見を出し合い
投票で決めてもらっ
たものを、生徒企画委
員会に持ち寄ってさら
に話し合い決定し
ました。



1 あいさつ

先生や友だちだけでなく地域の人にも明るいあいさつをしていて、とても気持ちがいいのが自慢です。特に登校時、下校時は、たくさんのあいさつが飛び交い、笑顔とともに心のつながりも生まれます。



2 校舎がきれい

これまで全校生で大切に使用してきました。ていねいに掃除をしているので教室はもちろん廊下もきれいです。運動場や中庭も整備されています。

3 給食がおいしい

調理員さんが毎朝早く来て作ってくださる温かい給食。余ったおかずを取り合うじゃんけんが白熱するほど、おいしいです。茶碗や皿の配置、箸やパンの向き、食材が食器の外に出ていないかなど、思いやりのある配膳を心がけています。



仲南小学校

各学級
で話し合った結果
をもとに、わたした
ちで決めました。



1 広い運動場

サッカーコートが2面とれます。陸上では、100メートル走の練習ができます。休み時間、全校生で遊んでも狭く感じません。



2 お花と笑顔

花壇やプランターは花でいっぱい。学校の周りのツツジは、わざわざ写真を撮りに来る人もいます。たくさんの花に囲まれて、全校生は笑顔満開です。

3 ひまわり学習

地域の方の協力のもと、種をまき、育て、ひまわりオイルになるまで、年間を通して学習しています。ひまわりオイルは給食で使ってもらっています。



四条小学校

わた
たちが話し合っ
て決めました。



1 四条っ子 リーダープロジェクト

全ての学年が、学校をよりよくするためのリーダーとなって活躍しています。

6年：もりあげいれいれいれいリーダー
5年：元気もリーもリーダー
4年：ハッピースマイルリーダー
3年：たからものリーダー
2年：ほかほかリーダー
1年：あいさつリーダー



2 みんなと仲よし

昼休みには、いろいろな学年や先生たちが混じって遊んでいます。体育祭では、わたしたちとうちの人、地域の人、みんなでジェンカを踊りました。

3 ノリがいい

行事の前には「えい えい しじょう〜!」のかけ声。楽しく学校生活が送れるよう工夫しています。





琴南小学校

わたしたちが
話し合って決め
ました。



学年関係なく仲よし

1～6年生が、外で仲よく遊んでいます。給食も全校生で食べています。



そばづくり体験

種からのそばづくり。ペア
学年で協力して育てます。手
作りのそばが食べられます。



大きなけやきの木

ツリークライミングをしたり、木かげで
のんびりしたりできます。



満濃南小学校



各学級
へのアンケートを
もとに、わたしたち
で決めました。



全校生が仲よくできるイベント (スポチャン・みんなで楽しいデー)

「スポチャン」は体育委員会、「みんなで楽しいデー」は児童会が企画。全校生で楽しめる運動やゲームをしています。



お花がいっぱい

色々な種類の花を、それぞれの
季節で楽しむことができます。緑
化委員会は花に関するクイズをし
て、全校生の花への関心を高めて
います。



朝の放送

生活広報委員会の担当。ニュースなどのほか、そ
の日にちなんだクイズもあり、教室から「やった
あ!」と正解に沸く声が聞こえたりもします。



高篠小学校

各学級で話し
合ったものをもと
にして、6年生で
決めてもらいま
した。



やさしい人が多い

休み時間には、いろいろな学年が一緒
に仲よく遊んでいます。仲よしタイムでは、
低・中学年が楽しめるよう、高学年が企画
を工夫しています。



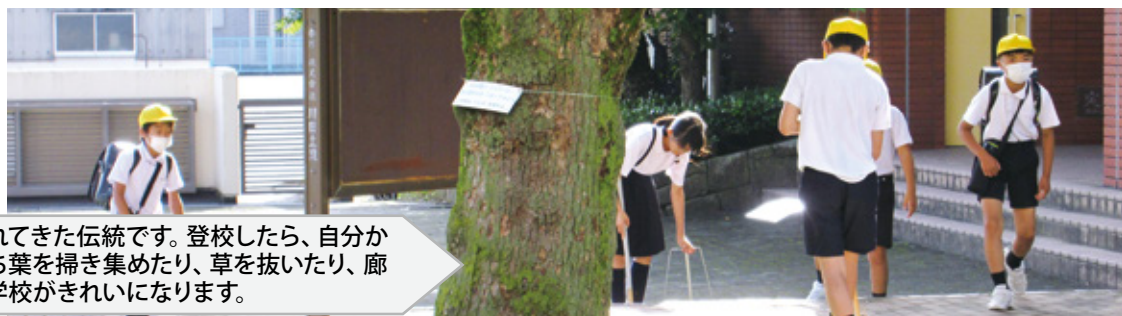
高篠カルタ

年に一度のカルタ大会。カルタは自分
で色めりができます。校区の歴史などを
楽しみながら知ることができます。

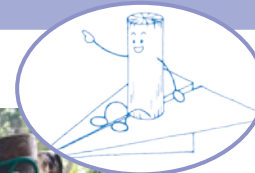


ボランティア

高篠小に代々受け継がれてきた伝統です。登校したら、自分
から進んで校庭や玄関の落ち葉を掃き集めたり、草を抜いたり、廊
下を掃いたりしています。学校がきれいになります。



長炭小学校



各学級
で話し合って決め
てもらったベスト3を
代表委員会に持ち寄
り、そこで話し合っ
て決めました。



長炭ぼうや

ほかの学校にはない長炭小学校のマスコッ
トキャラクターです。昔からあって、いつもわ
たしたちを出迎えてくれます。



トライ&エラー

いろいろなことにチャレンジす
る、わたしたちの合言葉です。なか
よし遠足や運動会など、学年同士
で力を合わせて頑張っています。



メダカの学校

先生たちがきれいにしてくれる池に
は、たくさんの鯉やメダカがいます。い
ろいろな色の鯉がいて、きれいです。



今年度、本校は国と県から「明日も行きたくなる学校づくりプロジェクト」のモデル校指定を受けています。子どもたちが、明日も行きたくなるような学校にするために、大切だと思っていることをいくつか紹介します。

1つ目は、縦割りグループ※の仲の良さ

6年生は、とてもよく下級生の世話をしてくれま。毎日の縦割り清掃では、雑巾やほうぎの使い方を丁寧に教えます。休み時間にはどろんこになって一緒に運動場を駆け回ります。風が強いと泣いている1年生がいたら、肩に手を置いて一緒に登校します。「どうして、そんなに下級生に親切にできるの？」と尋ねたくらいです。本当に優しいです。今年もその伝統は受け継がれています。1年生は、そんな6年生が大好きです。クラスの間関係に加え、縦割りの関係が日常化していることは、すばらしいです。教室だけが世界の全てでないことを教えてくれています。

※縦割りグループ…1年生から6年生が所属するグループ



朝、校長が不在の時、校門の挨拶運動をしてくださいました。また、青少年健全育成校区会



経験年数に長短はありますが、どの先生もとても熱心で、子どもを大事にしています。日々の授業の大切さを自覚し、教職員全員が授業改善を目的とする自主研究団体に入って積極的に勉強しています。大人自身が真理を求め真摯に学び続ける姿は、子どもたちにとっても良い影響を与えていきます。

3つ目は、熱心な先生方

「トライ&エラー」は、成功も失敗もかけがえない成長の糧になる、という意味です。4月には、給食を予め減らすのを止め、たとえ高い壁でもトライすることの意義を全校生で話し合いました。5月には、運動会の新しいパフォーマンスを自分たちで考え入場行進をしました。拍手が苦手な友だちのために、手話の拍手を提案してくれた子もいました。6月には、東京からプロの演出家や俳優を招聘し、「劇つくりワークショップ」を行いました。最近、「月曜日がしんどい友だちのために掃除をなくし昼休みを長くして遊ぶ『ハッピーマンデー』を創りませんか?」と、校長室を訪ねてくる子も出てきました。

さらにわくわくする学びを



百万回勉強しなさいと伝えるより、大人自身が勉強している姿を当たり前として子どもたちに見せることは、何より効果的です。昨年度は、タブレットの使い方のルールを子どもたちと一緒に作り、問題が起きる度、子どもたちと話し合い、ルールを更新しました。

「まなざし」という言葉は、私の大好きな言葉です。「まなざし」とは、物に視線を向ける時の目の表情や様子を指します。「まなざし」には、見る人の意思を感じさせる何かがあると思います。

子どものまなざし



なジェット機を見て「どこまで行くのかな?」と思いを馳せながら、好奇心はどんどん窓の外に向けられていきます。裏庭から一歩外に出れば、その風景の中に飛び込んでいけるところが、琴南こども園の魅力です。自分たちの暮らしは、風景・風土・体だという感覚はこういう体験から育まれるのではないのでしょうか。園外に出れば自然が広がり、子どもたちを見守る地域の方々がいて、そこに思いつく文化があります。子どもたちにとって学びの材料は、園内だけでなく地域にもたくさんあります。

多様な人々の「チーム」で

こども園には「子どもたちと遊ばせて!」と気軽に立ち寄り、魔法使いのような技で子どもたちの希望を叶えてくれる人や、柔らかい優しい空気感で包んでくれる芸術士など、多くの出会いがあります。また、プールサイドや体育館の小窓から、隣接する琴南小学校と交流が弾むことも魅力です。今年4月から、15分の業間休みを利用して小学生が遊びに来てくれます。



子どもたちの心を彩るふるさとを



琴南こども園



いつも子どもたちのまなざしの奥に映るのは、豊かな自然に溢れる「琴南」。子どもたちにとって、かけがえのないここの暮らしが、「ふるさと」への愛を育み、未来に繋がるものになってほしいと願い、これからも保育を進めていきます。



小学校の先生方と、「琴南の子どもたち」の育ちを一緒に繋げて支えていこうと思いを一つにして取り組んでいます。保護者の中にも多才な方がいて、行事等を通して子どもたちの新鮮な感覚を呼び起こしてくれま。それが織りなす保育は、子ども、保育者、保護者、地域の方々それぞれの個性や持ち味を発揮していく中で生まれます。互いの関わり、豊かさが様々な風合いや色合い、魅力的な模様などを生み出していくのではないかと思います。これが「チーム琴南」のもつ最大の魅力です。地域とのつながりのおかげで、園だけでは出会えないもの・こと・人との関わりが子どもたちの生活に生まれます。子どもたちや保育者の感性が育まれるチャンスがたくさんあります。先日の「夜までらんらん保育」は、素敵な森や山小屋でのキャンドルナイトなど、普段味わうことができない夢のような時間となりました。日常の中にある非日常的な空間・時間。自然と一体となつて存分に心も身体も動かして「楽しい!」を満喫したり、キャンドルの柔らかな光に包まれて絵本の優しい読み語りに耳を傾けたりしました。これも地域や山の案内人の方から子どもたちへの素敵な贈り物です。



第30回 1年生を担当して

今年度、町内小学校に117名の子どもたちが入学しました。この子たちの
こども園や保育園とは大きく異なる学校生活を支え、これまでの学びを生か
しながら指導している1年生の担任教員がいます。
そんな先生方の声を聞きました。

安心して楽しい学校生活を送ることができるよう

入学当初は小さな声で返事をしていた子どもが、朝の健康観察で「はい、元気です」と、大きな声で言えるようになってきました。子どもたちが元気に楽しく学校に通えることが、教師にとって何よりの願いです。こども園と小学校の生活は大きく違います。4月から新しい世界に飛び込んだ1年生は、戸惑うことも多くある中、「本当に毎日よく頑張っているな」と感じます。

私自身、初めて1年生の担任をして、毎日子どもたちから学ぶことがたくさんあります。授業準備が間に合わずに泣いてしまう子、下じきがどれなのかが分からずに泣いてしまう子。一見、どうしてそんなに悲しいのだろうと考えたしまつような様子の中に、失敗に対する大きな悲しみや分からないことへの不安が見えてきます。当たり前のことですが、45分授業という新しい生活リズムに、下じきや筆箱、教科書など学習に使う道具など、あらゆること・ものが本当に初めてなのだ改めて考えさせられました。子どもに分かる声かけや支援、「分からない」「助けて」が言えて安心できる学級づくりを大切に、全ての子どもたちと関わっていききたいです。

授業では、「遊びのように夢中になって学んでいく」ということを目標にしています。子どもたちは、こども園で遊びの経験をたくさんしており、遊びを作り出し、楽しむのが本当に上手です。入学前の経験を思い出して、歌ったり、ゲームをしたりする活動を授業の中に取り入れています。「もう授業終わりっ!」「もっとしたい!」という声が聞こえると、とてもうれしいです。私も、子どもたちと一緒に、遊びのように夢中になれる学びをたくさん発掘しようと思います。



高篠小学校 教諭 村田 咲

キラキラ輝くたからもの

今年度受け持っている6名のかわいい1年生との出会いは、昨年の夏休みまで遡ります。「一日保育体験」で、こども園の保育を体験しました。全力で走り回り、全身を使って絵を描き、疲れ知らずで笑顔いっぱい園児たちのパワーに圧倒されました。

時は流れ、今年の4月10日。教室で新入生と初めて会ったとき、「あつ、あの時の先生や!」と駆け寄ってきてくれました。「知っている先生やったから、学校へ行くのがこわくなくなった」と、後日話してくれた子がいました。大人でも、初めての場所に行くのは不安ですが、そこに知った顔の人がいればほっとします。ですから、1年生の教室を、安心できる場所にしたいという思いで、日々子どもたちと共に活動しています。

日頃、読み聞かせの時間を大切にしています。すきま時間を見つけては読み聞かせをしていると、6月初めの時点で100冊を突破しました。物語絵本では、絵をじっくり見て登場人物の表情や背景から想像をふくらませたり、生物・科学の読み物では、生き物の生態や不思議な現象に驚いたり、本を通してドキドキやわくわくをたくさん経験しているように感じます。

本に出てきたことを試すために、休み時間に実験セットを自分たちで作り、実験している姿にとても感心します。同じ本をもつ一度読んでほしいと頼んだり、自分でじっくり時間をかけて読み直してみたり、と本との出会いを楽しんでいる姿がうれしいです。

溢れんばかりの想像力。いろいろなことを話してみたいというやる気。やさしい人になりたいという気持ち。キラキラ輝く1年生が、もっと輝くように、これからも努めていこうと思います。



琴南小学校 教諭 河村 高志



こども園



アフターコロナの

運動会

5月18日(土) 各小学校・こども園

25日(土) 満濃中学校

※仲南こども園は10月19日(土) に実施予定



小学校



保護者や地域の方々の大きな声援を受け、子どもたちは力いっぱい躍動しました。たくさんの参加者と一緒にする競技や演技も再開されました。

関係機関から



あそびタイム

子育て支援室『つどいのひろばひまわり』で ほっこり子育て！

～ 子育て中のお母さんや子どもたちの居場所『つどいのひろばひまわり』に遊びに来ませんか ～

子育て支援室『つどいのひろばひまわり』は…

- (1)子育て親子の交流の場の提供、交流の促進
- (2)子育て等に関する相談援助
- (3)情報提供による子育て支援を目的に、平成30年4月より、子育て支援室（かりん健康センター敷地内）で活動しています。

こんなことしてあそぼ！

毎月の行事・季節の行事など多彩なプログラムがあります

- ☆大きくなったかな（身体計測）
- ☆読み聞かせ
- ☆木で遊ぼう（木育の日）
- ☆出張図書館
- ☆お誕生会



お誕生会

- ☆ベビーマッサージ（有料）
 - ☆リトミック※（有料）
- （※親子で音楽遊びやリズム遊び）



大きくなったかな



ベビー
マッサージ

■お問合せ

町健康増進課 ☎ 73-0126
町社会福祉協議会 ☎ 77-2991
（ホームページ <https://www.manno-syakyo.jp/>）

ひまわりの1日 タイムスケジュール

水分補給のために、飲み物を持って来てください。

10時	12時	13時	14時45分	15時
開所	あそびタイム	消毒 おもちゃ片付け ランチタイム	あそびタイム	片付け おもちゃ消毒 開所
		お弁当を持参して食べることができます		またね♡



行事のある時は、タイムスケジュールが異なります。

※町社会福祉協議会のホームページの中に『ひまわり』のコーナーがあります。そちらもご覧ください。

利用について

- 対象者** 町内にお住まいの未就学児（おおむね3歳未満）とその保護者
- 開所日** 月曜日から金曜日の10時から15時（いつ来ても いつ帰ってもOK）（祝日・年末年始・お盆は、休み 臨時の休日あり）
- 利用料** 無料（ただし、行事により参加費が必要です）
- 所在地** かりん健康センター敷地内子育て支援室



歯科相談

ひまわり担当職員より

乳幼児健診後、保健師と一緒にまだ首の座らないわが子を大事そうに胸に抱いて見学に来たお母さん。半年後には、ニコニコ笑顔で「あの頃は、初めての育児で戸惑うばかりで、霧の中にいるようでした。ひまわりに来てから、子育てを楽しむ余裕ができました」と話してくれました。

人生100年時代。子どもたちは、乳幼児期に濃密な親子の時間を過ごします。乳幼児期に親（保護者）から、他者からあったけの愛情を注がれることで、子どもたちは大きく育っていきます。親子でともに大きく成長し、お互いの豊かな人生につながっていくよう願っています。

ひまわりには、「孤育て」に陥らないように子育て支援ボランティアがスタッフと一緒に子どもたちや保護者を支援しています。子育て支援ボランティアは、養成講座を受講しています。

利用者の声

初めての育児で不安だらけだったけど、同じ月齢の子どものお母さんや先輩お母さんの体験を聞いて、子育てあるあるやなあと安心しました。



ほっと一息つける場所です。毎月のいろいろな行事に参加して、子育てを楽しんでいます。

お子さんとの生活リズムに合わせて自由にご利用ください。

教職員研修スタート



教職員の資質向上を図るため、町教育研究所主催の研修会がまりました。年間計画に従い、様々な立場の教職員を対象に実施しています。6月までに行われた研修会の一部を紹介します。

第1回 研究員会 「こども園部会」「小中学校部会」(5.23)

各こども園・小中学校の園内・校内研修の中心となる教員1名ずつの研究員で構成された「こども園部会」と「小中学校部会」があります。

この会での研修が、ひいては町全体の子どもの成長や学力の向上を担っていることから、研究員には教育長から委嘱状を交付しています。委嘱状交付後、それぞれの部会で1回目の研修会を行いました。



こども園部会



テーマは、「遊び心をもって生活を見直してみよう」です。香川大学の片岡元子先生にご指導をいただき、園での生活をもっと楽しくするために取り組めることについて話し合いました。

小中学校部会



テーマは、「現職教育の充実をめざして」です。現職教育主任の役割や今年度の教員の資質向上をめざした校内研修の取り組みについて話し合いました。

幼小連携接続研修 (5.21)

昨年度の5歳児担任と現在の1年生担任が、入学して間もない子どもたちの様子をもとに協議しました。こども園・保育園での学びを生かし、小学校での学習や生活につながるような支援の方法などについて情報交換を行いました。



人権・同和教育研修 (5.31)



今年度町内のこども園・小・中学校に赴任した教職員を対象に開催しました。町人権推進室長、長尾会館長から、町の人権・同和教育に関する取り組みや長尾会館の活動について話を聞きました。



校内研究授業参観

今年度は、「主体的・対話的で深い学びに向かう授業づくり」を進めるために、教育委員会が各校の研究授業、研究討議に参加し、研修する機会を設けました。研究員も、希望する学校を選択して、これに参加しています。

子どもたちの学習の様子や授業討議をもとに、授業のあり方や研修の深め方について、ともに考え、学んでいます。



琴南小 (5.29)



満濃南小 (6.5)



みんなの力で やり遂げた!

長炭小学校

編集後記

20世紀を代表する音楽グループ「ビートルズ」。数え上げればきりが無い名曲の数々は、今なお人々を魅了し続けています。その中の一曲『レット・イット・ビー』が、5月1日（日本時間）、思いがけない場所で流れたのをご存知でしょうか。

それは、MLB『ダイヤモンドバックス』の本拠地チェイス・フィールド。この日は午前10時40分（日本時間）に、対『ドジャース』戦が始まる予定でしたが、球場のバックネット最上段に蜂の大群が見つかり、その駆除のため開始が遅れることとなったのです。

いつ始まるのか目処の立たない待ち時間。それは人々にとって長く退屈な時間、となるはずでした。しかし、そこで流されたBGM『レット・イット・ビー（Let It Be）』が、苛立ちに向かいそうな人々の心を溶かしていったようです。この曲は、「なんとかなるさ」「なすがままに」の意味を持つ「Let It Be」が歌詞の中で繰り返されるうえに、「Be」に「Bee（蜂）」をかけ、蜂に任せようよ～（Let It Bee）と呼びかけでもするような、何とも粋な選曲だったからです。

70分余りが経った頃、ようやく蜂駆除業者のマット・ヒルトンさんが到着。すると、待ちくたびれているはずの観客は拍手喝采。作業が終わると大歓声。ヒルトンさんも、ガッツポーズでこれに応えました。

彼の作業と観客の応援を後押ししたのは、やはりBGMでした。蜂をどこかへ連れてってと願うかのような『Take On Me』。「私にはヒーローが必要な」「ヒーローを待ち焦がれてる」と歌う『Holding Out For A Hero』。状況と絶妙にマッチしたこの演出に、会場は大盛り上がり。ヒルトンさんはその後、作業服のまま始球式のマウンドにも上がり、試合開始前にして、この日のヒーローになってしまいました。

「いつまで待たせるんだ」と不満が蔓延しても不思議ではなかった局面を笑いに変え、エンターテインメントにまで高めることができたのは、やはり「ユーモア」の力でしょう。眉をひそめ深刻に受けとめても、負の連鎖が進むばかり。そんなときにこそ、粹にとらわれない自由な発想で、冷静かつ柔軟に対応できる心のゆとりが必要であり、そうした心のゆとりから生み出されるのがユーモアだと思うのです。

今回、額を寄せ合って自分たちの学校の自慢をまとめてくれた児童会・生徒会役員の子どもたち。今年度の活動は、まだ始まったばかりです。今後、難しい問題に直面することもあるでしょうが、そんな時には、少しだけ自分の心と距離を取り、ゆとりをもって局面を冷静に見つめ、仲間と力を合わせて最良の道を見つけていってほしい、そんなふうに思いました。

(Y. T)

表紙絵：長尾 蓮（満濃中学校美術部2年）

次号予告
（10月1日発行）

特集
園・学校ウォッチング

英語教育のこれから
仲南小学校・満濃南こども園